

ENEOS 海外渡航支援事業報告書 (学会渡航)

2024 年 7 月 8 日

工学部 工学研究科修士課程 (どちらか○で囲む)
所属学科・専攻・回生 社会基盤工学 学科・専攻 修士 2 回生

氏 名 齋藤 遼太

1. 参加期間 2024 年 6 月 25 日 から 2024 年 6 月 27 日

2. 会場 (開催国・場所・機関等)

英国・スコットランド, University of Aberdeen

10th International Symposium on Environmental Hydraulics 2024

3. 発表成果 (概要)

“Development of boat-type float for automatic velocity measurement in riverine and coastal areas”という題目で、沿岸域での水底地形の計測および波浪パラメータ推定のためのロボット開発に関する発表を行った。本研究では、任意地点での波浪計測を行うことを目標とし、GPS を用いて機体の位置を制御するロボットの開発を行い、機体に搭載している加速度センサーの値をマイコンで処理することで有義波の推定に挑戦した。

発表自体は質疑も含め 15 分程度であったが、学会期間中の休憩時間や食事の際、発表を聞いてくださった多くの研究者の方から、よりフランクな形でコメントや質問を頂くことに加え、活発な議論を交わすことができた。頂いたコメントはいずれも貴重なもので、センサーから得た値の処理方法など、非常に重要な知見を得ることに繋がった。

4. 奨学金の使途

学会参加費 (全額)、旅費 (一部) および宿泊費 (パリでのトランジット時のホテル分)